

調査報告・概要

公共図書館の「乳幼児おはなし会とわらべうた」

一全国公共図書館実態調査まとめ一

はじめに

近年、公共図書館では児童の利用者層が低年齢化しています。それに伴って「乳幼児おはなし会」が急増し、おはなし会のプログラムに 1990 年代以前にはほとんど見られなかった「わらべうた」が徐々に加わり始めました。そして 2000 年代以降になると、この動きが急速に広がるようになりました。

そこで筆者は、児童図書館研究会の研究費助成を受け、公共図書館では、"どのような内容や方法で行なわれているのか"、をテーマに、「乳幼児おはなし会とわらべうた」の研究調査を致しました。

本報告では、全国の公共図書館に向けて行ったアンケート調査から今日の実態を知る上で主要と考える部分を掲載することとしました。詳細を「調査報告・資料集」としてまとめましたので、ご覧いただけましたら幸いです。

筆者は本アンケートを実施する 20 年以上前より継続して、数館の公共図書館でわらべうたを取り入れた実践を乳幼児と保護者向けに行っています。各館の参加者、担当者などにもご協力いただき、内容や影響等を記録してきました。今後はこの実践記録の蓄積と、今回のアンケートの結果とを併せて検討することにより、乳幼児おはなし会の更なる可能性を再考し、取り組みの充実に努力していきたいと考えています。

最後にアンケートの回答をしてくださった全国各地の図書館(担当者様)に改めてお 礼を申し上げます。

2015 年 5 月 落合美知子

実態調査の方法・内容

* 調査時期および対象:

全都道府県の公共図書館から以下 1) 2) の条件で 150 館を抽出し、2012 年 12 月にアンケート用紙を発送、回収(提出締切: 2013 年 1 月 25 日)。

回答は、「2012年12月現在」の状況を記入するように依頼。

- 1) 人口や地域性を考慮し、抽出館の偏りのないように調整した。
- 2) 各都道府県の抽出館中に、必ず市立中央図書館規模の公共図書館を含むようにした。

※ 回収および有効数:

回答率: 87.3% (131 館から回答、未回答 19 館)。

ただし、複数の回答館からは分館等の状況について複数回答があったため、分析対象とする最終有効数は 165 館となった。

調査内容(アンケート用紙): 次ページ以降に「送付アンケート用紙」を掲載。

図書館長様 (児童担当者様)

「乳幼児おはなし会」アンケート調査のお願い

この度、児童図書館研究会の研究費助成を受けて、「乳幼児向けおはなし会」について、各地の公共図書館にアンケート調査をさせていただくことになりました。お忙しい折とは存じますがよろしくお願い致します。

このアンケート調査は、公共図書館で近年急増した「乳幼児向けおはなし会 (これに類する乳幼児向けサービスの会)」が、従来のおはなし会の内容、趣旨 や役割とどのように変化しているか?特に「わらべうた」を取り入れるように なった動向に視点を向けています。

各地の「おはなし会」の現状をアンケートにより把握(記録)させていただき、長年、「わらべうた」に取り組んできた実践者の協力を得ながら、今後の図書館サービスに役立て行くことを目的にした調査、研究です。趣旨をご理解の上、アンケート(No.1~3)のご回答をよろしくお願いします。

2012年12月10日

調査者(代表) 児童図書館研究会会員 落合 美知子

回答に当たって、次の点をご確認ください。

1 このアンケートは、「乳幼児おはなし会」の調査ですが、赤ちゃんから幼児を対象とした乳幼児向けサービスの集いであれば、名称は「おはなし会」でなくても該当します。(例えば、「絵本とわらべうたの会」等も含みます)

2 「わらべうた」について

この調査における「わらべうた」とは、伝承されてきた子どもの遊びうたを中心としたものと日本の子守唄を含みます。(例、♪ひらいたひらいた ♪おおさむこさむ や、ちょちちょちあわわ、いないいないばあ のような唱えことばも含みます。) 作者のいる創作の手遊び、童謡は入りません。

おはなし会では、口承(肉声)によってなされていることを前提とします。

3 アンケート提出の期日

2013 年 1 月 25 日までに、同封の封筒にてご返送ください。

ご不明な点は、下記にお問い合わせください。

「おはなしとおんがくのちいさいおうち」 落合美知子 Tm. fax *** (***) **** E メール ***@***** **

アンケート 公共図書館の「乳幼児おはなし会とわらべうた」No.1

近年、公共図書館の「乳幼児おはなし会」の内容にわらべうたが取り入れられるようになりました。このアンケートは、その実態と今後の「おはなし会」取り組みのための調査研究を目的とし、児童図書館研究会の研究費助成によって行っているものです。ご協力くださいますようよろしくお願い致します。(2012年12月現在)

* 以下の質問に対して、貴館の該当する箇所に〇印 (複数可) を付けてください。 記入箇所の回答もお願いします。 調査責任 児童図書館研究会会員 落合美知子

<はじめに>
1 乳幼児が参加出来るおはなし会(注)集会行事(わらべうたの会等)も含む
イ 開催している ロ 開催していない
2 おはなし会の内容と対象
<おはなし会の内容は?> イ 赤ちゃんを対象 ロ 幼児を対象 ハ 乳幼児全体を対象 二 その他 ()
<参加の方法は?> イ 自由参加 ロ 事前の申し込み制 ハ 1年間の定員制 二 その他()
3 おはなし会の実施回数(月当たり)2012年12月現在
イ 1回 ロ 2回 ハ 3回以上
4 参加者 (2012年の月平均、1回あたりの子どもの人数)
イ 10人以下 ロ 10~19人 ハ 20人以上
5 おはなし会のプログラム内容 (日常のおはなし会で実施しているものにはすべて〇印、その他にはそれ以外を記入)
イ 絵本の読み聞かせロ わらべうたハ 創作の詩、歌 (手遊び、童謡を含む)二 紙芝居ホ ペープサートヘ ストーリーテリングト ブックトークチ その他 ()

*以下は 「わらべうたを取り入れている」と答えた館への質問です №.2
1 おはなし会になぜ、わらべうたを取り入れたか?(理由、目的、始めた年代) イ 開始時期()年()月より開始 ロ はじめた理由、目的
2 おはなし会の実施者 イ 職員 ロ 職員とボランティア ハ ボランティアのみ 二 その他()
 3 わらべうた実施の担当者(年間通して) イ 決まっている ロ 決まっていない() 一イに該当する館(実施者の人数) ― ・1人 ・2人で交代 ・3人以上で交代 ・その他()
4 おはなし会では、どのようなプログラムで行っていますか? イ 決まった方法(または型、順番)がある ロ そのつど違うやり方(担当者に一任) ハ その他(
5 最近のプログラム(記録のある館は別添してください。または、ご記入下さい)
(時間 分)
5 おはなし会で実践しているわらべうた (おはなし会でよく歌われて(遊ばれて)いるわらべうたを別紙にご記入ください)

別紙「おはなし会のわらべうた」 No.3

図書館名(

図書館)

貴館で実践されているわらべうた(2012 年 1 \sim 12 月の実施回数の上位)を下記の表にご記入下さい。

(注) わらべうたの最初のことば(例 あんたがたどこさ ひごさ)を記入して下さい。

わらべうた記入欄	わらべうた記入欄	

年 月 日 記入者()



調査報告・概要

公共図書館の「乳幼児おはなし会とわらべうた」―全国公共図書館実態調査まとめ―

2015年5月

編集•発行: 児童図書館研究会

東京都港区新橋 5-9-4-3F

Tel.& Fax 03(3431)3478